

◆なぜ、その学校に興味を持つのか？

第1章で、興味校のリストアップと志望校の絞り込みについて述べましたが、絞り込まれた学校はいずれも実際に受験するかもしれない強力な候補です。もちろん、何かのきっかけで、それまで関心のなかった学校が突如、志望校になることもあります。それはそれで縁のある出会いです。しかし、今の時点で興味のある学校について深く調べ、現実的な志望校とするかどうかを検討することは、正攻法です。

そもそもなぜ志望校に興味を持ったのでしょうか。

- ・自分や家族・親戚が卒業生、または在校生である。
- ・知人が卒業生であったり、在校生であったりする。
- ・教育方針が確かだと聞いている。
- ・街で見かけた児童の印象が良かった。
- ・進学実績が良い。
- ・学校自体にブランド力がある。
- ・制服が格好いい、かわいらしい。

など、さまざまな理由があるはずです。

その理由は、イメージの部分が強いですか？ それとも、体験に基づくものですか？

イメージから学校に興味を持った場合は、具体的な情報を補う必要があります。**信用できる情報を手に入れ、学校の本質を知ることが必要です。**この先、イメージだけで学校を判断していくわけにはいきません。自分の体験から興味を持った場合は、そのままおおいに志望校の候補となりえます。

もし、**他人の体験が理由になっているのであれば、自分自身で情報入手し、判断することが必要**です。

◆信用できる情報だけに頼る勇氣

受験準備を開始して間もないころの私は、飛び込んでくる情報に右往左往していましたが、次第に、それらの情報の多くが根拠がなく、信用するに値しないことに気がきました。

特に、伝聞で聞いた話というものは、情報源が突き止められないだけでなく、話が伝わっていく過程で、話す人の思いこみや誤解により、いくらかでも脚色されたり変化したりします。話す人の価値観で内容にバイアスがかかることもあります。伝言ゲームという遊びがありますが、たった4、5人の口を経るだけで、どれだけ内容が変化するかということも多くの方が体験しているでしょう。それと同じで、人から聞いた話というのは、迂闊（うかつ）に信じるのは危険です。

正しいかどうかわからない情報に翻弄されるのは時間とエネルギーの無駄です。まさに非効率の極みです。信用度の低い情報をもとに、大切な我が子の学校選びをすることはできません。**信用できるのは、自分で確かめた情報だけ**。私はこのことを徹底しました。

受験に関する情報は、信用度によって次のように分類できます。

○レベルA（最も信用できる情報）

- ①**学校が自ら発信している情報**：ホームページ、パンフレットなど。学校から一方通行の情報です。
- ②**学校が提供する特別な催し**：学校説明会、学校見学会、運動会、バザー等の催し、私立学校展ブース参加など。大部分が学校と話し合う機会がある双方向の情報です。
- ③**在校生・卒業生である自分や直近の家族からの情報**：直接体験に基づいている最も確かな情報です。時間が経っている場合は、最新の情報を上記①②で必ず入手します。
- ④**学校への直接の問い合わせ**：不明点、疑問点を直接学校に問い合わせ

せて得た回答は、何より信用できます。

○レベルB（信用できる情報）

①**受験案内の一般書籍**：中立的な立場で客観的に書かれたものに限ります。

②**在校生・卒業生である親戚・信頼できる知人からの情報**：直接体験ではないこと、その人の感じ方や学校との相性にも左右されることに注意する必要があります。

○レベルC（注意を要する情報）

①**特定の機関（受験産業など）が営利目的で発信する情報**：発信者に有利になるよう表現されている可能性がありますので、鵜呑みにしないように注意します。

②**又聞きの情報**：間接的に聞いた話は簡単に信じてはいけません。「友達の友達が、〇〇したらしい」の類の話は要注意です。

○レベルD（信用できない情報）

①**うわさ話**：自分が参加しないことはもちろん、耳に入ってくる話を信用しないことです。

②**明らかに悪意に基づくものや中傷目的のもの**：完全にシャットアウトします。

レベルAの情報は、積極的に自分で取りに行きます。いわゆる縁故や家族・知人に卒業生・在校生がいても、**必ずレベルAの最新情報を自分で確認**します。疑問点があれば、迷わず学校に問い合わせをします。問い合わせをされて迷惑だと思いう学校はありません。

レベルBの情報もおおいに参考になるので、レベルAの補完としてどんどん活用します。ただし、主観的判断に偏ったものに頼らないようにします。

レベルCは、場合によっては参考程度に使ってもいいことがあります。判断の基準にするのは危険です。**レベルDの情報は気になるかもしれませんが、百害あって一利なし**です。完全に排除する勇気を持てば、受験生活の時間的・精神的負担がだいぶ軽くなります。こここそ、効率性を追求すべきところです。

●受験情報の信用度チェック表

情報の信用度			
信用度		情報の種類	アクション
100%	レベルA：もっとも信用できる情報	学校が発信する情報 自己の直接体験	積極的にどんどん取りに行く
90%	レベルB：まずまず信用できる情報	市販の案内書 信頼できる人の体験	客観的なものを積極活用
80%			
70%	レベルC：注意を要する情報	特定の機関が発信する情報	主観的・商業主義・扇動的なものは安易に信じない
60%			
50%			
40%			
30%			
20%			
10%	レベルD：信用できない情報	うわさ・中傷	完全シャットアウト
0%			

効率的な情報の選択・活用を！

◆集めた情報はコンパクトに整理

学校イベントに出席する意義は、インターネットや写真などの平面情報に出てこない情報を五感で知ることです。

講和のポイントや自分で観察したことに加え、「何を感じたか」の部分も記憶が鮮明なうちに言葉で記録します。私の経験では、しばらく時間が経ってから「あの学校の雰囲気はどうだったか」と思い出そうとしても、すんなりと思いつけないことがありました。何校かを訪ねるうちに記憶が混乱することもあります。

そこで、「学校訪問記録シート」を作り、得た情報を簡潔にまとめることにしました。定型フォームを作り、学校訪問や行事参加に参加するたびに、帰宅後、メモをみながら整理するのです。見聞きした事実と、それに対する感想を箇条書きで記します。人間の記憶は翌日には大半が失われるといいますが、印象も記憶も鮮明な、学校訪問当日中にこの作業をします。

このちょっとしたひと手間をかけることで、学校間の比較がやりやすくなり、のちの願書記入や面接準備にも非常に役立ちます。

●学校訪問記録シートの例

<p>学校名：私立 A 小学校 出席行事：第 1 回説明会 訪問日： 年 月 日 午前 時～ 時半</p>	
<p>プログラム： 校長先生より講和、教頭先生より入試要項説明、校舎見学。 投入教員数：校長、教頭のほか、主に案内係として 5 名（男性 3 名、女性 2 名）。 参加者概数：200 名ほど。父親も 20 名ほど。</p>	
<p>■校長先生の話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個性を重んじる教育。 ・一人ひとりの発達を見守り育てる。 ・自立と協調、個と集団。 <p>家庭には学校を信頼して一緒に子どもを育てていくことを望む。</p>	<p>■校長先生の話の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経験豊かで落ち着いた先生。 ・熱意と冷静さを併せ持っている。 ・わかりやすい話し方に好感。 ・子どもの個性を尊重してくださる点が多い。
<p>■ほかの先生の話（教頭先生）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入試は昨年と同じ形式。 ・子どもの素の部分を見る考査。 ・「特段の準備は要りません。家庭でしっかりお子さんを見つめてください」 ・通学の安全に留意すること。 	<p>■ほかの先生の話の感想（教頭先生）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特段の準備は要らないということは、詰め込みで受験準備するのを嫌っているのか？ ・家庭の温かさを期待している。 ・話が聞き取りにくかった。
<p>■教職員の態度、様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体にきびきび、にこにこ。 ・敬語がうまく使えない若い教員 1 名。 	<p>■児童の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度はよい。 ・休み時間は外で元気に遊んでいる。 ・すれちがうと「こんにちは」と言う子が多く好感。
<p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年2組の国語授業参観。活発な授業。 ・体育館見学。(広い、きれい) ・理科室、工作室見学。(普通) 	<p>■清掃</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレ：清潔。明るい。 ・廊下：隅にゴミ。 ・窓：やや汚れ。
<p>■特に印象に残った点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長先生の熱意。思わずひきこまれた。 ・児童は授業と休み時間の切り替えがよくできている。 	<p>■思わしくない点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い教員の質に少々疑問あり。 ・清掃に雑なところが気になる。
<p>■出席者の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紺スーツ多い。派手な感じは無い。 ・知り合い同士、声高におしゃべりしている人たちが見苦しい。 	<p>■疑問点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・願書配布日聞きもらし→後日電話で聞くこと。

ブランクシートを巻末に掲載してあります

◆学校に求めるものをハッキリさせる

志望校を決めるには、我が子に望む教育環境をはっきりさせることが必要です。これまでボンヤリとしていた「求める学校像」を解明していく作業をします。

保護者が求める学校像には、次の10の基準があると私は考えます。

- ①男女別学か、共学か。
- ②中学、高校、大学のどこまでの一貫校か。
- ③宗教に基づく学校か。
- ④国立か、私立か。
- ⑤自由重視教育か、規律重視教育か。
- ⑥運動系体質か、文化系体質か。
- ⑦進学実績を求めるか。
- ⑧学校名にブランドを求めるか。教育内容本位か。
- ⑨学費は許容範囲内か。
- ⑩学校の持つ雰囲気が好みか。

上記の①から⑧までは、学校全般に求めるものですが、⑨と⑩は個別の学校に対する基準です。また、⑩はスパッと割り切れない感情の部分です。学校を好きになる理由がすべて理性的なものによるとは言えません。好きかどうか、好みかどうかは、理屈で説明できなくても、大切な指標です。**感情の部分は目標達成のための強いモチベーション**となりますから、判断基準から除外することはできません。

10の基準の特徴は次ページのチェックシートにまとめられます。求める項目に○印をつけていくと、我が家の方向性が見えてきます。必ずしもどちらかに絞りきれない場合は、やや強いほうの項目に△をつけます。「我が家は学校に何を求めているのか」という大切な問いに関して、これまで曖昧だったものが、明確になってくるはずです。

●求める学校像を探る 10 の基準チェックシートの例

	基準	メリットの特徴	チェック
①	男女共学	男女の協力、友情を学ぶ	
	男女別学	異性を気にせず、同性の人間関係を深める	
②	一貫校	長期的に一貫した方針の下で落ち着いた教育が受けられる（系列校進学率は学校により異なるので注意）	
③	宗教	宗教に基く精神的な指導を得られる（各校の宗教理解が必要）	
④	国立校	型にとらわれない教授法による教育が受けられる	
	私立校	建学の精神にもとづく独自性ある教育が受けられる	
⑤	自由重視教育	自主性と判断力育成が期待できる	
	規律重視教育	規律の遵守としつけが期待できる	
⑥	運動系体質	心身両面が強く鍛えられる	
	文化系体質	落ち着いて取り組む姿勢を身につける	
⑦	進学実績	受験に対応するカリキュラム、生徒・家庭の士気ある環境	
⑧	学校名のブランド力	世間での通りがよく、信頼がある	
	教育内容本位	教育内容に誇りを持つ	
⑨	学費は許容範囲か	家庭の経済力に合った学校か	
⑩	学校の持つ雰囲気が好きか	感情面でポジティブになれる	

blankシートを巻末に掲載してあります

①～⑧は学校全般に求めるもの

⑨⑩は個別の学校に求めるもの

●学校訪問記録シート

学校名： 出席行事： 訪問日： 年 月 日 午前 時 分～ 時 分	
プログラム： 投入教員数： 参加者概数： 名	
■校長先生の話	■校長先生の話の感想
■ほかの先生の話（教頭先生）	■ほかの先生の話の感想（教頭先生）
■教職員の態度、様子	■児童の様子
■その他	■清掃
■特に印象に残った点	■思わしくない点
■出席者の様子	■疑問点

●求める学校像を探る10の基準チェックシート

基準		メリットの特徴	チェック
①	男女共学	男女の協力、友情を学ぶ	
	男女別学	異性を気にせず、同性の人間関係を深める	
②	一貫校	長期的に一貫した方針の下で落ち着いた教育が受けられる（系列校進学率は学校により異なるので注意）	
③	宗教	宗教に基く精神的な指導を得られる（各校の宗教理解が必要）	
④	国立校	型にとらわれない教授法による教育が受けられる	
	私立校	建学の精神にもとづく独自性ある教育が受けられる	
⑤	自由重視教育	自主性と判断力育成が期待できる	
	規律重視教育	規律の遵守としつけが期待できる	
⑥	運動系体質	心身両面が強く鍛えられる	
	文化系体質	落ち着いて取り組む姿勢を身につける	
⑦	進学実績	受験に対応するカリキュラム、生徒・家庭の士気ある環境	
⑧	学校名のブランド力	世間での通りがよく、信頼がある	
	教育内容本位	教育内容に誇りを持つ	
⑨	学費は許容範囲か	家庭の経済力に合った学校か	
⑩	学校の持つ雰囲気が好きか	感情面でポジティブになれる	

●過去問題の傾向分析表

小学校 過去問題 傾向分析表		
領域	年度・出題単元	特記事項
数量	(2005年) (2006年) (2007年) (2008年) (2009年)	
図形	(2005年) (2006年) (2007年) (2008年) (2009年)	
推理	(2005年) (2006年) (2007年) (2008年) (2009年)	
記憶	(2005年) (2006年) (2007年) (2008年) (2009年)	
言語	(2005年) (2006年) (2007年) (2008年) (2009年)	
常識	(2005年) (2006年) (2007年) (2008年) (2009年)	

● 1日の時間割

1日の時間割			
時間	予定	備考	
午前	5 00		
		30	
	6 00		
		30	
	7 00		
		30	
	8 00		
		30	
	9 00		
		30	
	10 00		
	30		
	11 00		
	30		
午後	12 00		
		30	
	1 00		
		30	
	2 00		
		30	
	3 00		
		30	
	4 00		
		30	
	5 00		
		30	
	6 00		
		30	
	7 00		
		30	
	8 00		
		30	
	9 00		
		30	
10 00			
	30		

遊びの時間 計 () 時間 () 分

学習・受験準備関係の時間 計 () 時間 () 分